

# Seisei Times No.2

SEPTEMBER 2017



## 第一回★エンパワーメントプログラム開催

### 8月21日月～25日金

夏休み後半、本校初の試みとなる「エンパワーメントプログラム」が開催されました。これは海外の学生と英語でディスカッションすることで、語学力アップはもちろんコミュニケーション力を伸ばし、自己啓発を促す5日間の校内研修。特進コース(全員)と教養コース(希望者)の1年生たちが受講しました。



ボディランゲージも立派なコミュニケーションツール



ファシリテーターの英語も次第に聞き取れるように...



グループリーダーが生徒たちの個性を引き出します



自分の意見をしっかり伝える心が育まりました



## 奇跡の成長を見せた5日間

ファシリテーター(進行役)によるオール英語のプログラムに、少し緊張気味でスタートした初日。オープニングセレモニーの後、お互いの自己紹介から始まりました。最初のうち、生徒たちは英語を話す声小さく、恥ずかしそうな様子。でも、グループリーダーの外国人学生から、ジョークを交えつつ笑顔で話しかけられるうちに、身振り手振りをしながら英語で会話できるようになってきました。

そしてここからエンパワーメントプログラムの真骨頂。この5日間は単に英語を話せばいいわけではなく、テーマ。今回6〜7人の小グループで話し合ったテーマは「ポジティブシンキング」「マイ アイデンティティ」「リーダーシップ」「日本と海外の大学システムの違い」「自分の将来の目標」など。しっかり自分自身が考え、学んで臨むこと

とがポイントです。聖星の生徒たちは、「グループリーダーたち二人ひとりが自分の意見をしっかり持っていて、かつよかった。改めて自分も真剣に考えるきっかけになった」と話していました。

英語演習の5日間はあっという間でしたが、生徒たちのスキルアップは目を重ねることに如実に顕れてきました。グループリーダーとハイタッチしながら気さくに英語で会話する姿や、相手の目を見てしっかり自分の意見を述べる様子が印象的。最終日には「人々が全員の前でスピーチ。その姿は、みんな実に堂々としていました。

参加した生徒たちからは「間違えることを怖がらずに、英語を積極的に使うことの大切さを知った」「これから大きな声で、アイコンタクトとボディランゲージを使ってどんどん海外の人たちと会話したい」とさらに、「何」もポジティブな考え方が変化を起こすことを知った」「リーダーシップには信頼が

大切で、そのためのコミュニケーションが大事と分かった」と感想を語ってくれました。

また、生徒たちと過ごしたグループリーダーの学生たちは「聖星の生徒は素直で向上心がある。集中力もあるのだからも学び続けてください」と高く評価。プログラム終了時には、「自分たちも皆さんと出会えて幸せでした。ありがとう」という感謝の言葉と共に、「完璧な英語でなくていいから、自分の考えを伝え、他の人の考えに耳を傾けることで自分の世界を広げよう。ネバーギブアップ」とアドバイスを贈ってくれました。

# 幅広い視野で、夢は大きく

今年4月から共学化し、すっかり校内の雰囲気が変わった浜松聖星高校。新1年生として入学した男女4人の生徒たちと、北協理事長、重信校長に1学期の感想を語り合っていました。



## キリスト教の文化にもっと触れていきたい

——まず北協理事長から、共学化後、初めての1学期を終えたご感想をお願いします。

**北協** 皆さんも最初はいろいろ戸惑いがあったかもしれないけど、だいぶ慣れてきたんじゃないかと思うんですよ。皆さんは共学化の二期生であり、私たちも期待を持って受け入れたので、これまでの感想を皆さんから直接聞きたいと思います。

——では生徒さんに、浜松聖星高校を選んだ理由について、一人ずつお願いします。まず阿部君から。

**阿部** 2年次のカナダへの1年留学に魅力を感じたからです。

**佐野** 夏のオープンスクールで世界史の授業を受け、世界史の楽しさを感じられたので、この学校で学んでみたいと思いました。

**清水** 日本に住んでいても、英語を使う機会が増えてきていますので、英語教育に力を入れていく聖星高校で、自分の英語力を上げようと思って入学しました。

**浅原** 夏のオープンスクールに来た時にアットホームな雰囲気を感じたので、ここで3年間を過ごしたいと考えました。

——カトリック系の学校ということで、マリア祭などの行事があったり、聖歌を歌うこともあったりしますが、それ



らを経験して、どんな感想を持ちましたか。

**阿部** 自分は初めてキリスト教の文化、行事に触れたんですが、今まで感じたことのない雰囲気を味わえて、とてもいいなと感じました。これからは続けていきたいと思っています。

**佐野** 私も今までは関わりがなかったキリスト教ですが、その魅力を知ることができたと思います。

**清水** 幼稚園が仏教系だったんですが、そことはまた違ったことを体験できて、いろいろな行事に積極的に参加していきたいと思いました。

**浅原** 宗教の授業でチャペルに行ったり、朝に聖歌を歌ったりして、「もっと自分を大切にしよう」と思うような宗教を大切にしよう」と思うようになりました。

——そのほか印象に残っているのは。

**浅原** 文化祭が印象に残っていて、私は茶華道部なんですけど、思ったよりいろいろな人が来てくれて、今まで関わったことがない年齢の人、小さな子供とも来てくれました。

**清水** 僕はマリア祭です。お祈りとか、中学では全然体験しないことなので、印象に残っています。

——それで、自分が変わったな、と思うことはありますか。

**清水** 宗教に触れることで自分の考え方が広がっていますし、一つの考え方に囚われないようになりました。

**佐野** 私はベリタスプラザが一番印象に残っています。グローバルイシュー研究部に入っているんですが、世界の貧困問題など、今まで知らなかったことをベリタスプラザで展示するために調べて、未知の世界を知ることができました。

——校長先生から見ると、今年の新1年生の印象はいかがですか。

**重信** 男子が63人ということで、女子の3分の1しかないということはあるんですが、男子は全体的に活動的な部活に入ってくれている。行動自体も目立っているんで、男女の人数に差があるということとは、それほど感じないですね。負けてない。男子が大らかに活動してくれているので、僕らも見えて楽しいですね。

——清水君、今の校長先生のお話を聞いて、どうですか。

**清水** 中学と違って、女子が多くて男子が少ないので、男子の団結力も大切なのかなと思います。

——共学化する学校に初めて男子として入るのは、勇気が必要だったのかな、と思います。不安はなかったですか。

**阿部** 女子が多いと男子は圧倒されてしまいましたが、それで男子の団

## 幸福な生活

浜松聖星高等学校 校長 重信明利



「コロンブスが幸福であったのは、彼がアメリカを発見した時ではなく、それを発見しつつあった時である。幸福とは生活の絶え間なき永遠の探求にあるのであって、断じて発見にあるのではない」と言ったのは、「罪と罰」を書いたロシアの小説家ドストエフスキーです。

本当にそうだったかどうかはコロンブスに聞かないとわかりませんが、幸福感にも目標がコンプリートされた時に訪れる「顕在的な幸福」と、目標達成の過程ですでに無意識の中で感じている「潜在的な幸福」の2種類があり、その両方を手に入れるために人間は日々努力しているということはなんとなくわかります。さらに言えば、冒険にしろ、(もっと身近な例で言えば)プラモデルやジグソーパズルの製作にしろ、どちらかという顕在的な幸福よりも潜在的な幸福を求めて人間は活動しているとも感じます。ただ、コロンブスが冒険家としていきなり新大陸を目指したわけではなく、最初の頃はカナリア諸島やアフリカ大陸への冒険を繰り返していたことを思うと、プラモデルやジグソーパズルも最初から大作に挑むのではなく、小さいものから入って段階的に大きくしていくのが、その潜在的幸福感を膨らませるコツだとも考えられます。

ドストエフスキーが言う「生活の絶え間なき永遠の探求」がこの潜在的幸福感の継続的な増幅であり、「発見」がもたらす顕在的な幸福感はそれを得るための契機に過ぎないということになるのであれば、高校生が部活で練習を重ね、地方予選を勝ち抜き、最後の大会で全国を目指すこと、毎日の勉強で各種の模試や検定をクリアして難関大学への合格を目指すことなど、どれをとってもこの3年間は「潜在的な幸福」で溢れている時期ではないかと思えます。

## 「世界に貢献する」とは?

学校法人 浜松海の星学院 理事長 北協保之

浜松聖星高校は、「隣人愛の実践により世界に貢献する人間を育てる」を教育目標に掲げています。今回は少し硬い話になりますが、この教育目標の意味について書きます。

人間は神によって、「神の像」として、また、単独なものとしてではなく、その本性から社会的存在として造られました。したがって、人間が神の御心に応えて人格の成長を図るためには、人間社会をよりよいものにしなければなりません。この人間社会にとっての「善きこと」を「共通善」と呼びます。

「共通善」とは、「集団と個々の成員とが、より豊かに、より容易に自己完成を達成できるような社会生活の諸条件の総体」を意味します。(1965年カトリック・第2バチカン公会議で採択された「現代世界憲章」)。共通善の原理の前提には人格としての人間の尊重があり、人間が真に人間らしい生活を送るために必要なすべてのものを獲得できるような社会を目指します。本校の教育目標にうたわれる「世界に貢献する」とは、この共通善の促進にほかなりません。

現代の社会を見ると、以前に比べれば世界全体の富は増したはずなのに、貧困や格差、過酷な労働状況、頼るものがない高齢者や子どもの存在、テロや国際危機など解決すべき問題はむしろ深刻になっています。明日の世界を少しでもよくするため、教育にとって何より大事なことは、自分自身のことだけでなく、共通善の促進を考える人間を育てることだと思えます。

(出席者)



1-7(特進)  
阿部桜之資  
鹿玉中出身  
バドミントン部



1-8(特進)  
佐野二千夏  
北部中出身  
グローバルイシュー研究部



1-6(教養)  
浅原芽依  
高台中出身  
茶華道部



1-6(教養)  
清水悠平  
娘塚中出身  
サッカー部



——理事長から生徒さんたちに聞きたいことはありますか。  
**北 脇** 将来の目標と、その目標に向けて聖星高校でどんな勉強をしたい

聖星ならではの体験を  
思い切り楽しもう

——理事から先生さんたちに聞きたいことはありますか。  
**清水** 試合を経験できます。3年生相手に負けることがあっても、自分たちは来年、再来年にもつなげることが大事だと思っています。

**重信** 11人しかいないと、全部の試合に全員がフルで出場しなくちゃいけないから、練習になりますよ。

**清水** 試合をやることでチーム内の連携を確かめたりできるので、つひとつひの試合を大事にしています。

**北 脇** 最近は練習試合とか、他の学校と試合することも多くなっています。面白いですか？

**清水** サッカー部に入っています。幼稚園の頃からサッカーをやってきて、高校でも続けるか迷ったんですけど、11人ギリギリ集まったので続けようと思ったんです。

**北 脇** 最近は練習試合とか、他の学校と試合することも多くなっています。面白いですか？

**佐野** グローバルイシュー研究部と末広会に入っています。グローバルイシューは友だちに誘われたのがきっかけなんです。末広会は、元々中学からボランティア活動をやっていたので自然に入りました。

**阿部** バドミントン部です。小学生から野球をやってきて、高校でも野球をやろうと思っていたんですけど、聖星高校の魅力にひかれて、バドミントンに転向しました。

**佐野** 将来の夢は社会科の先生になることです。中学の頃から社会科が好きで、聖星高校の体験授業を受けてさらにひかれたんですが、先生が熱心に授業をしてくださるので、わからないところも聞きやすいです。

**阿部** 自分はプロ野球チームの通訳をしたいと思っています。英語に力を入れて、どんどん外国人と接していきたいんです。

——浅原さんはどうですか。  
**浅原** 私は言語聴覚士になろうと思っています。ベリタスプラザの時もチルドレンプレイルームに参加して、小さい

**北 脇** 聖星高校で英語や国際教養教育を大事にしているのは、決して世界に出ていく人を育てようということばかりじゃないんです。今、清水君が言ってくれたことは、本当に私たちが考えていることをドンピシャリで受け止めてくれているということ、すごくうれいすね。清水君が自分の道を追求していけば、必ず世の中の役に立てると思っています。

**清水** 僕は警察官になろうと思っています。2020年の東京オリンピックなど、外国人が日本に来る機会がますます増えると思うので、日本にも英語を使う機会が増えるし、今から英語をしっかりと身に付けることを意識しています。

**重信** 自分のやりたいことは学生時代にしかなかなかできません。聖星高校ならではの経験を、思い切り楽しんではいきたいと思います。

**阿部** 勉強を頑張らなきゃいけないのは当たり前ですが、11月17日の物故者追悼式なども経験しながら、将来に役立っていききたいです。

**浅原** 2学期から生徒会に入りたいと思っています。体育祭とか行事の企画を通じて、いろいろ経験したいと思っています。

(取材日…2017年7月10日)



子と話をしました。また、クラスや部活の中でも、なるべく多くの人と話すようにしています。いろいろなきっかけで話すことが難しくなった人や、高齢者の方が少しでも楽に話せるようにサポートしたいです。

——2学期以降も違う体験をするようになるでしょうが、それに対して、どう頑張るつもりですか？

**阿部** 勉強を頑張らなきゃいけないのは当たり前ですが、11月17日の物故者追悼式なども経験しながら、将来に役立っていききたいです。

**浅原** 2学期から生徒会に入りたいと思っています。体育祭とか行事の企画を通じて、いろいろ経験したいと思っています。

**重信** 自分のやりたいことは学生時代にしかなかなかできません。聖星高校ならではの経験を、思い切り楽しんではいきたいと思います。

**阿部** 勉強を頑張らなきゃいけないのは当たり前ですが、11月17日の物故者追悼式なども経験しながら、将来に役立っていききたいです。

**浅原** 2学期から生徒会に入りたいと思っています。体育祭とか行事の企画を通じて、いろいろ経験したいと思っています。

ブラッドリー先生の 間違いやすい日常英会話 ★Lesson 2★

I have dark brown eyes.

OK!  
GOOD!

眼の色に "black" は使わない

アメリカの運転免許証には目の色が記載されているのですが、「じゃあ、私はアジア人だから "black" だね」と言うと、大笑いされます。実は "black eyes" というのは殴られて目の周りがあざになっている状態を指すのです。アジア人の目の色は通常 "brown" や "dark brown" と表現します。

I have black eyes.

NO!

black eyes...

## 第24回 同窓会定期総会



風薫る五月晴れのもと、第24回同窓会定期総会を開催致しました。女子校から共学校へと移る本年度の総会テーマは「つなぐ」。来賓の皆様と同窓生合わせて450名が出席して下さいました。第I部定期総会では、昨年度、母校に5千万円の寄付をしたことを伝え、過去3年間の事業報告と決算報告を致しました。そして同窓会名を浜松海の星・聖星高等学校同窓会、略称「海の星会」と改正することをお知らせするとともに、60年の伝統を引継いで、さらに飛躍発展を



目指す母校を応援していくことの思いを共有致しました。第II部は評論家金美齢氏を講師に迎え、「今日より幸せな明日のために」〜自分らしく生きぬくヒント〜の講演を傾聴しました。台湾に生まれ、日本に留学、母国の民主化運動を推進するなど、波乱万丈の生き方の中で信念を持ちつづけ、凛として立っている姿勢に感動いたしました。毅然とした生き方の中に周りの人々への感謝の心を大切にされている。あたたかい心もお話の中から伝わってまいりました。グローバル化が進む中、金先生のお話はこれからの母校の発展につながると思われました。第III部の懇親会は、演劇部・演劇コースOGによる合唱のサプライズから始まりました。その後、北協理事長、重信学校長の祝辞と金原洋元校長により乾杯の音頭で和やかに会が始まりました。回生別にテーブルを囲み歓談、恩師との昔話に花を咲かせての至福の時間でした。ダンス部OGのステージも披露されました。卒業後も母校で学んだ特技を生かして活躍している輝く姿を間近に見ることができました。会の最後には抽選会もあり、当たった人も外れた人も共に笑顔でした。聖歌「かみともにもいまして」を全員で歌って明るく楽しい雰囲気の中に総会を閉会いたしました。

## Campus Calendar

キャンパスカレンダー

9月

26日(火) 体育祭

10月

2日(月) 修学旅行(~10/6)

3日(火) 3年生

チャペルアワー

5日(木) キャンパスツアー

(1年生特進)

6日(金) 1年生

チャペルアワー

13日(金) 保育ふれあい体験

23日(月) 2年生

チャペルアワー

11月

4日(土) 2年生保護者対象  
大学進学説明会

11日(土) 秋のオープンスクール

17日(金) 物故者追悼式

25日(土) 秋のオープンスクール

12月

9日(土) 入試説明会

16日(土) 入試説明会

17日(日) 降誕祭



秋のオープンスクール

11/11(土), 11/25(土)

場所 浜松聖星高校  
対象 中学生とその保護者

## バザーのお礼

平成29年6月10日(土)ペリタスバザーにて開催されました。同窓生やご家族、母校に心を寄せてくださる方々から多数のバザー用品を提供していただき、盛況のうちに終了することができました。今年は浜松聖星高等学校として初めての開催でしたが、フリーの喫茶コーナーも大好評で楽しいバザーの1日となりました。例年通り、売上金より3万円を末広会に寄付をさせて頂きました。ご協力有難うございました。



売上金	165,012円
寄付金(末広会)	30,000円
同窓会会計繰入金	135,012円

バザー運営部

## 部活動結果

吹奏楽部



3年連続全国大会出場!  
(通算5回目)

第72回 東海吹奏楽コンクール金賞

第65回 全日本吹奏楽コンクール出場

陸上競技部

第60回 東海陸上競技選手権大会出場

女子800m 平井美羽

女子4x400mR 平井美羽 市丸海夢 内山真奈 清水胡桃

剣道部

第64回 東海高等学校総合体育大会 剣道競技 女子団体戦出場

永谷梨彩子 久保朱里 大石ののか 鈴木璃瑚

中村美紅 高塚真亜弥 松尾萌吹 小林愛美